

「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2018 きたかみ」趣意書

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2018 きたかみ

実行委員長 高橋 寛美

リレー・フォー・ライフ（RFL：命のリレー）は、がん征圧を目指すチャリティ活動であり、1985年アメリカ・ワシントン州シアトル郊外で、アメリカ対がん協会の医師が24時間競技場を歩き続け寄付を募ったことが始まりです。今では全米を中心に、24か国、世界5,500ヶ所以上で行われる世界規模の催しになりました。

日本では、2006年に茨城県つくばで始まり、今年の開催は50か所に増え、岩手では一関・釜石に続き、昨年より北上で開催しています。

年間を通して、イベントの開催や募金活動を通じてのチャリティ活動を行いますが、その集大成としての「リレーウォーク」は、がん患者やその家族、支援者や地域の方々が運動場、公園などを会場にして交代で24時間にわたり歩きながら、がん征圧への願いを込め、お互いの絆を深め合うチャリティイベントです。

これらのチャリティ活動で寄せられた寄付金は、対がん協会に託され、がん研究者への助成、奨学金、がん相談や検診率向上のために使われます。

いま、2人に1人ががんになるという時代、がんを告知されたその時から、医療の選択、仕事の事、治療費、子供や介護の事、抱えきれない不安がおしよせます。

がんになっても、どこでも、だれでも、安心して最良の治療が受けられる社会、がんと共存し自分らしく生きられる社会をみなで考える機会にできたらと願います。

がんになっても「きたかみ」が安心して暮らせる地域でありますようにと願い、皆様と共に歩んで参りたいと存じます。

以上の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

<リレーウォーク 2018 きたかみーがん啓発チャリティイベントー> 開催要項

2018年9月1日（土）～ 2018年9月2日（日） みちのく民俗村にて開催

参加の仕方は様々です。

- ・仲間とチーム参加し、リレーウォークに参加する。
- ・個人で参加して、当日会場で他の参加者とリレーを行進する。
- ・ボランティアとして事前から若しくは当日参加する。
- ・リレーウォークの当日のイベントに参加する。

詳細は決まり次第改めてご案内させていただきます。

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2018 きたかみ 実行委員会
事務局 高橋 美保 （ホームケアクリニックえん内）